

〈住宅〉の歴史社会学

祐成 保志著

ネットカフェ難民、ひきこもり、ドメスティック・バイオレンス……。こう並べると、近年の社会問題の多くが「住宅」にかかわることに気付く。いずれも住宅が私たちの「身の丈に合っていない」感覚が背景にあると著者は指摘する。理想の住宅イメージといっても時代相に応じて変遷する。本書は、明治期以降の住宅をめぐる言説をたどり直すことで、日本人が住宅に何を問い、どのように日常生活を成立させてきたかを明らかにする。(新曜社・三、六〇〇円)